

きものは表現だ！

明治・大正・戦前の表現に負けるな
和と洋の融合で進化するきもの

「東京キモノショー 2025 キモノスタイル展」のテーマは“表現”。長い歴史と伝統をもつきものは、しかし、立ち止まったまま今に続いているわけではありません。時代、時代での流行もあり、変化もあっての、現代のきものなのです。

カジュアルきものが盛んな昨今。きものはきものとしての存在が明確でありながら、ファッションとしては洋服の要素があたりまえのように取り入れられてきています。その系譜は、実は明治時代の文明開化からの流れがあります。

2025年キモノスタイル展は、表現をテーマに、「洋服の要素」を取り入れたコーディネート、スタイリングを募集します。

取り入れる要素は、アイテムそのものから、素材、柄、小物等々、自身のテーマに合わせた洋服の要素をトッピングしてきものを表現してください。もちろん、「きものが主」であれば、フォルムそのものの変化やオリジナルデザインもOKです。「正統派なのに、実はここが……」「和洋ボーダレスな斬新フォルム」等々、皆さんの表現をお待ちしています！

そして、今年から出展者の紹介パネルのデザインを一新。出展者がしっかりわかり、目立つようにスペースをとって記載します。また、3体出展くださった場合は1体分が無料。さらには説明パネルとは別にブランドパネルの設置をしていただけます。

今年の企画展は、明治・大正・昭和でもこんなきものがあったの！？という、各時代のきもの進化と表現をご覧くださいませ。ぜひ、皆様も表現者としてご参加ください。お待ちしております。